

1. 中間評価概要

◆計画の指標及び評価総括（上段：実績値、下段：達成率）

	基準値 (R 2)	中間目標値 (R 7)	目標数値 (R 1 1)	R 4 年 速報値 (R4.6 月末)	<参考> R 3 年実績値
観光入込客数 (人)	2,564,254	3,820,000	4,050,000	1,717,886	2,426,263
				44.9%	
宿泊者数 (人)	79,904	180,000	200,000	41,809	73,263
				23.2%	
観光消費額 (億円)	151.3	163.8	177.3	-	-
				-	-

<補足>

- ・令和 4 年速報値は、令和 4 年 1 月から 6 月までの数値。下段には中間目標値（R7 年）に対する達成率を記載。

◆評価総括

<全体>

令和 4 年 1 月～ 6 月期の本市観光入込客数（速報値）は約 171.7 万人となり、中間目標値に対して 44.9%の達成率となった。（令和元年同期比 1,676,080 人、2.4%増、前年同期比 1,200,725 人、43%増）

また、令和 4 年 1 月～ 6 月期の宿泊者数（速報値）は約 4.1 万人となり、中間目標値に対して 23.2%の達成率となっている。（令和元年同期比 94,060 人、55.5%減、前年同期比 23,828 人、75.4%増）

前年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けやすい状況下にあるが、全市一体となって中長期的かつ戦略的な視点から観光振興に取り組むことが重要である。

<成果>

- ・ストーリー性を高めたプロモーション、本市ならではのコンテンツの造成、キャッシュレス決済の推進等による受入環境の整備等の各取組みにより、令和元年同期比で観光入込客数は増加傾向にあった。

<課題>

- ・デジタルを活用したマーケティング調査による様々なデータの収集・分析に取り組むとともに、回遊性の向上及び滞在時間の延伸を図るため、来訪者ニーズに基づいた「稼げる」観光資源の発掘・磨き上げに取り組む必要がある。
- ・地域の稼ぐ力を引き出すとともに、「観光地経営」の視点にたった地域活性化の仕組みを検討すべく、具体的な方向性を関係団体と意見交換する機会を重ねていく必要がある。